

企業における自然災害リスクとその対応セミナー 多様化するリスクに向き合う

本年、令和2年7月豪雨により熊本県を中心に多くの犠牲者が生じました。昨年は9月に令和元年房総台風、10月には令和元年東日本台風が発生し、一昨年も記録的な雨量となる平成30年7月豪雨が列島に大きな爪痕を残すなど、近年では毎年のように大きな風水害が発生しています。

こうした中、気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）は、企業等に対し、事業や資産が気候変動によって将来受ける影響（リスクと機会）を開示するよう勧告しています。勧告では気象災害による影響を典型的な物理的リスクとして明示していることから、近年、激甚化している気象災害は、企業にとってますます重要な経営課題となっています。

一方、わが国の立地特性上、地震と火山活動は宿命的事業であることは言うまでもありません。さらに、COVID-19に代表されるように多様化するハザード・リスクは、もはや顕在化する地球環境問題や複雑化する社会問題と切り離して考える事はできません。『環境と社会の視点からあらためてリスクをみつめる。』との思いから、今回は、5つのテーマを、初の試みとなるウェビナーでお届けいたします。

開催概要

日時： 第1回 2020年9月15日（火） 講演開始 13:30～

第2回 2020年9月16日（水） 講演開始 13:30～

両日とも講演内容は同一です。

会場： WEB開催

主催： 株式会社イー・アール・エス、応用アール・エム・エス株式会社

協力： 鹿島建設株式会社

参加費： 無 料

参加申込要領

下記のホームページにアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

株式会社イー・アール・エス ホームページ
<https://ers-co.co.jp/>

応用アール・エム・エス株式会社 ホームページ
<https://www.oyorms.co.jp/>

申込者多数の場合、先着順とさせていただきます。ご了承ください。（各回定員 300 名）

■お申込締切： 2020年9月8日（火）

プログラム

15日、16日とも講演内容は同一です。

時間	内容	概要
13:30 ～ 14:10	気候変動の物理的リスク評価と 情報開示 応用アール・エム・エス(株) 大野 大地	「パリ協定」採択、SDGs への強い関心を受け、企業は地球温暖化への対応が不可避の課題となっています。本講演では、現状整理、そしてTCFD 提言により把握が必要な気候変動による物理的リスク評価、および評価のリスクマネジメントへの活用方法についてご紹介します。
14:15 ～ 14:55	TCFD に適応する Climate VaR と 水害リスク評価手法について (株)イー・アール・エス 望月 智也	今後わが国ではTCFD の物理的リスクとして水害リスクを対象とした評価が進むと予想されます。本講演では欧米でTCFD に適応すると認識される物理的リスク評価指標「Climate VaR」を解説し、さらにわが国の実情を反映した評価をご紹介します。
15:00 ～ 15:40	【特別講演】 感染症パンデミックモデル、サイバー モデルを含む新分野のモデル開発 RMS Japan(株) 金刺 靖一	RMS 社は、30 年以上にわたる地震・台風などの自然災害モデルの開発経験を活かし、新しい分野のモデル開発にも取り組んでいます。本講演では、新型コロナウイルスの感染拡大で注目を集める、感染症パンデミックのモデルを中心に、サイバー、テロなど、新しい分野のモデルやその活用方法をご紹介します。
15:45 ～ 16:25	政府による大規模降灰の被害想定と この成果を踏まえたリスク分析のご紹介 応用アール・エム・エス(株) 時実 良典	今年4月、中央防災会議から、「大規模噴火時の広域降灰対策について―首都圏における降灰の影響と対策―」と題した報告書が公表され、富士山大規模噴火時の被害想定や降灰が社会経済活動等に与える影響の報告がありました。本講演では、この概要をご説明するとともに、降灰の不確実性を考慮したリスク分析事例をご紹介します。
16:30 ～ 17:10	リアルタイムマルチハザード 情報配信システムの構築 (株)イー・アール・エス 加藤 了英	地震発生直後に得られる各地の詳細震度情報を反映して20分以内を目途に個別建物の被害を予測・配信する「災害アラート-Q」と、局地的豪雨による現時点から60分後までの内水リスクや中小河川浸水予測情報を配信する「災害アラート-F」をご紹介します。

※各回とも、講演30分の後、10分程度の質疑の時間を予定しております。

但し、第2回(9月16日)のRMS Japan(株)金刺氏の講演には質疑はありません。

ご不明な点につきましては、下記セミナー事務局までご連絡ください。

お問い合わせ先 株式会社イー・アール・エス (セミナー事務局)

TEL: 03-5786-0090 FAX: 03-5786-0094

応用アール・エム・エス株式会社 (セミナー事務局)

TEL: 03-6434-9801 FAX: 03-3479-0163